



緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2022.10.28

新宮地域人権のつどい

去る10月16日に新宮地域人権のつどいを実施したところ、たくさんの方にご参観いただきまして誠にありがとうございました。人権・同和教育の視点に立った授業を各学年で（中学生は合同道徳で実施）公開させていただきました。授業や学校生活を通じて、自分も人も大切にできる児童生徒を育成していきたいと思っています。

また、その後の講演会では、新居浜在住で動物画を中心に活躍の画家石村嘉成さん、父親の石村和徳さんにご講演いただきました。まず石村嘉成さんからご自分の体験を聞かせていただいた後、和徳さんから発達障害への正しい認識や手立てがいかに大切かを中心にお話ししていただきました。「知識・戦略のない放置は、子どものチャンスを奪っている」、「育児と教育は『適切さ』『一貫性』『継続的』のすべてが必要である」、「『知識ある愛』を持ち、『行き届いて育てる』」、「鬼手仏心（きしゅぶっしん）」、「厳しくしてきたが、自分に対して厳しくしてきた」等のお話が強く心に残りました。ご参加いただいたみなさんも、それぞれの立場で気づきがあったのではないかと思います。特に、私が印象に残ったのは、「普通の子育てを丁寧にしてきただけ」という言葉です。ここまでの子育てが厳しい道のりであったことは簡単に推察されますが、そう言える和徳さんの生き方に学ぶことが多くありました。みなさんは、どのように感じられたでしょうか。

最後にライブドローイングを披露してくださいました。輪郭を彫った版木にインクを塗って、あらかじめ色付けしている紙に慎重に載せます。そして、バレンで擦りますが、希望者にも体験させてくださいました。多くの子どもたち、保護者の方が参加されてみんなの作品になりました。目の前で、作品が出来上がる瞬間を見ることができ、貴重な体験となりました。できたライオンの作品は迫力あるものでした。ありがたいことに、できあがったこの作品はなんと！寄付してくださいました。幼稚園、小中学校の家宝として、大切にしていきたいと思っています。今後、額に入れるなどしてお披露目したいと思っています。

